

第777号
 2018.1.23(火)

ピョンチャンオリンピック総聯同胞応援団！

先週「号外」という形でピョンチャンオリンピック総聯同胞応援団に関するお知らせをしました。北南高位級会談でウリナラのオリンピック参加が合意され、同時に総聯同胞の応援団を南側が受け入れる急激な情勢の変化にうれしい悲鳴です。北と南の選手団が合同で統一旗を掲げ、世界が注目するオリンピックの開会式で入場行進をする現場に総聯同胞が立ちあえることは夢のようなことです。お知らせした直後から総聯本部には大きな反響がありました。

申込の締め切りはいつなのか、費用はいくらかかるのか、宿泊地はどこなのか、何の競技を観るのかなど「行く」ことを前提とした問合せが多いように感じました。

ウリナラはオリンピックに際し選手団とともに応援団と芸術団、テコンドー師範団の派遣も決め、南側も受け入れを承諾しました。また、女子アイスホッケーチームは統一チームで参加することになりました。同胞応援団の1陣2陣はアイスホッケーの試合観覧もすることになっています。

1ヶ月前までは想像もできなかったことが現実になりつつあります。ウリ民族の気概を世界中に示し、歴史の大きなうねりを直接現場で体感しましょう！ピョンチャン行きを検討されている方は一両日中にご連絡下さい。

ピョンチャンまで行けない方はテレビ中継を楽しみましょう！

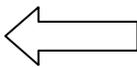
「折り紙チョゴリでギネスチャレンジ」 にご協力下さい

—茨城朝高学父母の康善行さんからの呼びかけです。—

茨城ハッキョでは創立 65 周年を記念し、ギネス世界記録にチャレンジします。折り紙でチョゴリを折って集まった紙チョゴリを学校に展示し、そのディスプレイの数で世界記録を狙います。

募集期間は 2018 年の 8 月まで。1 人でも多くの方が参加して、一つでも多く折り紙チョゴリをお願いします。

今、ウリハッキョを取り巻く環境はいつにも増して厳しくなっています。しかし、今まででもそうだったように多くの方々の力強い支えによって子供たちは今も相変わらず前を向いて歩んでいます。子供たちの変わらぬ笑顔のため、自信にあふれた未来のためになにかできることはないかとプロジェクトを立ち上げました。ギネス記録で世界にチャレンジする。子供たちに今置かれている環境がすべてではない、世界は無限に広がっているという事を感じてほしいと思っています。また、大人たちも一緒にチャレンジすることで学校との一体感、団結心を感じていただきたいと思います。ぜひ多くの方の参加をお願いします。



このプロジェクトに協力していただける方はフェイスブック「折り紙チョゴリでギネスチャレンジ・プロジェクト」で検索し詳細をご覧ください。チョゴリとチマの折り方の動画を見ることができます。福島県で折った紙チョゴリは康善行さんが集めプロジェクト事務局(茨城ハッキョ)にとどけるようにします。

夢のあるチャレンジにぜひご協力下さい。

今週の放射線量

(ハッキョ自動測定器)

15日(月)	0.087	19日(金)	0.092
16日(火)	0.099	20日(土)	0.089
17日(水)	0.094	21日(日)	0.092
18日(木)	0.094		

24	25	26	27	28	29	30
水	木	金	土	日	月	火
			浜通児童教室 朝青本部会議			